

■ 住民・事業所アンケート調査結果

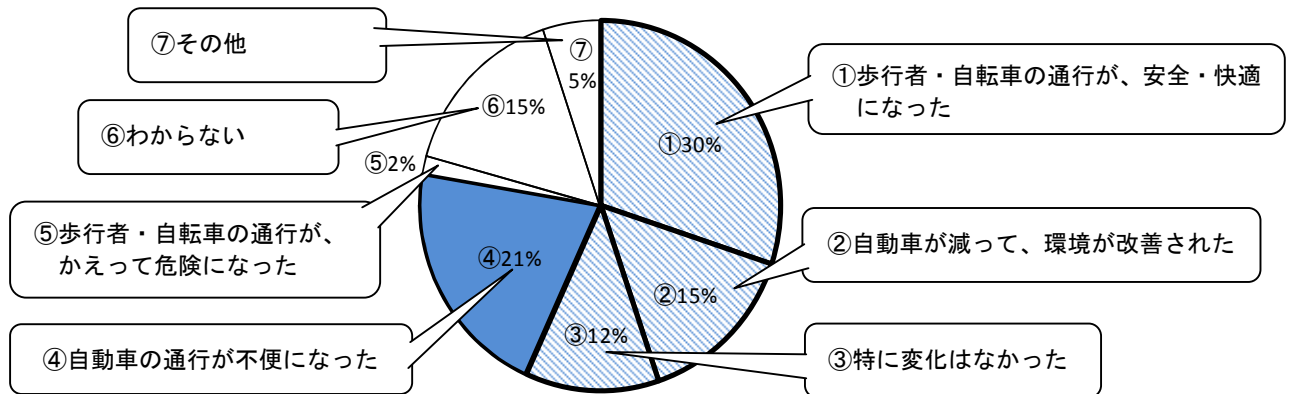
(1) 調査概要

項目	概要
目的	交通社会実験中の地域住民の日常生活や事業活動への影響の把握
期間	配布：6月6日（金）～ ，回収：7月4日（金）着まで有効
対象エリア	明田町、上田辺町、紺屋町
配布・回収方法	配布：自治会による配布、市職員によるポスティング ，回収：郵送
回収率	27.1% （回収 364 通 / 配布 1,342 通）

(2) 上田辺町3号線の歩行者専用道路化への評価

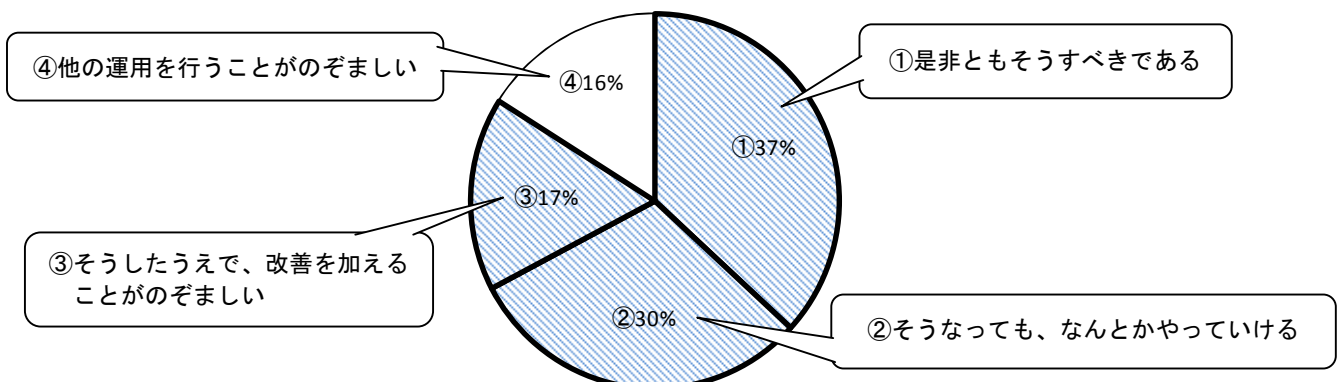
・今回の交通社会実験については、①「歩行者・自転車の通行が安全・快適になった」②「自動車が減って、環境が改善された」③「特に変化はなかった」が 57% と過半数が高く評価している。

・④「自動車の通行が不便になった」が 21% と、自動車通行者には不便になっていることが確認された。



・今後の歩行者専用道路化については、①「是非ともそうすべきである」②「そうなくても、なんとかやっていける」が 67% を占めた。

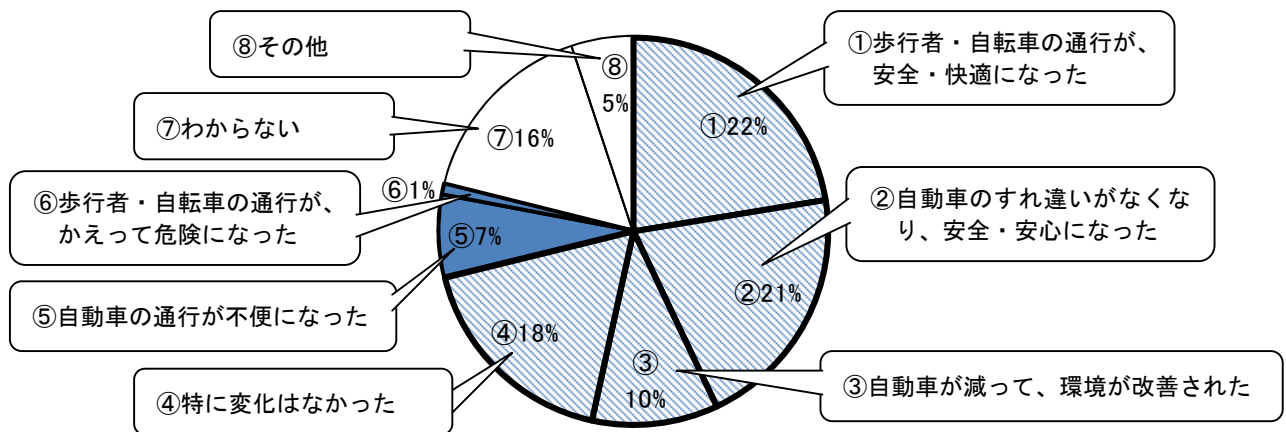
・③「そうしたうえで、改善を加えることがのぞましい」の 17% を加えると、84% が「歩行者専用道路化」に賛成している。



(3) 上田辺町1号線の西行き一方通行規制への評価

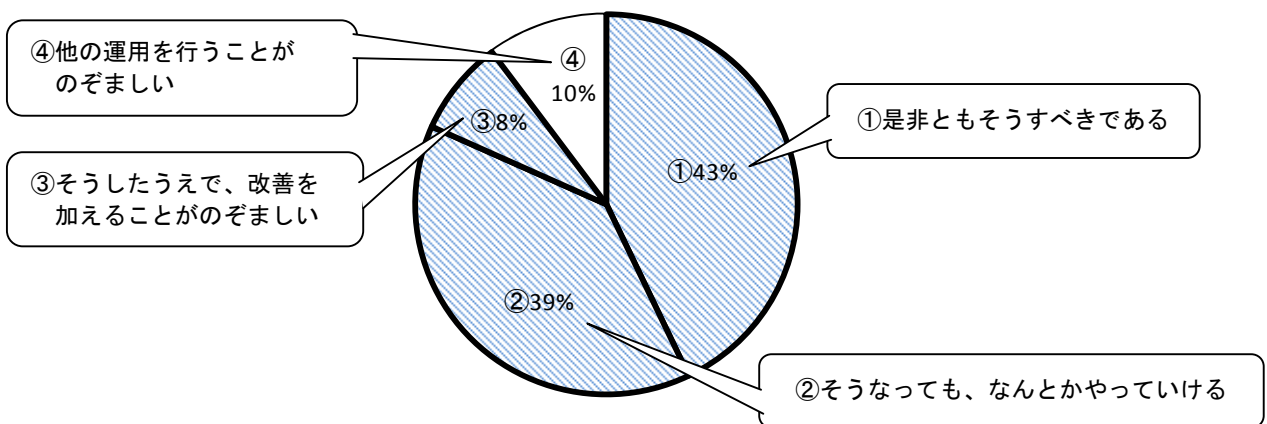
・今回の交通社会実験については、①「歩行者・自転車の通行が安全・快適になった」②「自動車のすれ違いがなくなり、安全・安心になった」③「自動車が減って、環境が改善された」④「特に変化はなかった」が71%を占めた。

・⑤「自動車の通行が不便になった」⑥「歩行者・自転車の通行が、かえって危険になった」が8%であった。



・今後の西行き一方通行規制については、①「是非ともそうすべきである」②「そうであっても、なんとかやっていける」が82%を占めた。

・③「そうしたうえで、改善を加えることがのぞましい」の8%を加えると、90%が「西行き一方通行規制」に賛成している。



■ 来訪者ヒアリング調査結果

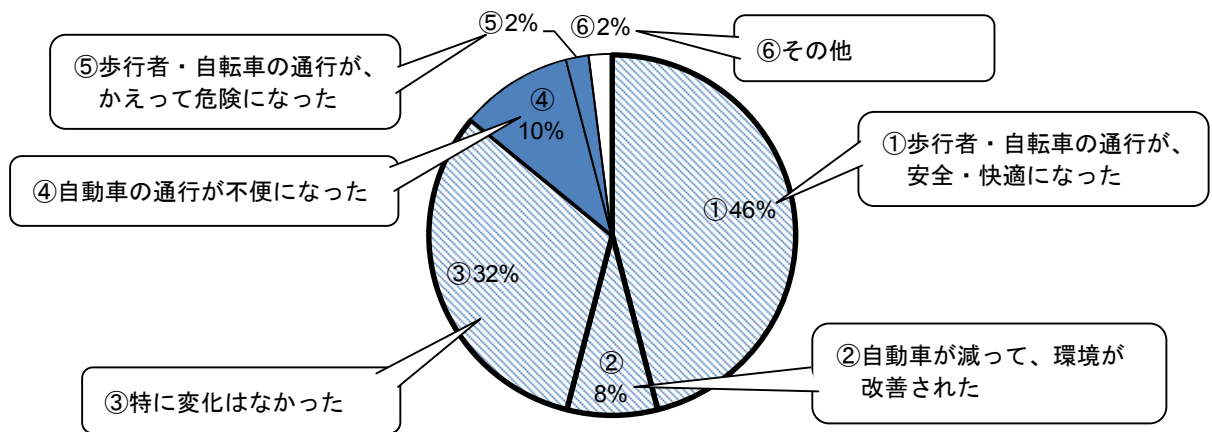
(1) 調査概要

項目	概要
目的	来訪者が感じる交通社会実験中の通行上の問題点や印象を把握する
日時	6月10日(火) 7:00~17:00 (10時間)
対象者	上田辺町3号線及び上田辺町1号線を利用している来訪者
回答数	179名

(2) 上田辺町3号線の歩行者専用道路化への評価

・今回の交通社会実験については、①「歩行者・自転車の通行が、安全・快適になった」②「自動車が減って、環境が改善された」③「特に変化はなかった」が86%を占めた。

・④「自動車の通行が不便になった」⑤「歩行者・自転車の通行が、かえって危険になった」が12%であった。



(3) 上田辺町1号線の西行き一方通行規制への評価

・今回の交通社会実験については、①「歩行者・自転車の通行が、安全・快適になった」②「自動車のすれ違いがなくなり、安全・安心になった」③「自動車が減って、環境が改善された」④「特に変化はなかった」が87%を占めた。

・⑤「自動車の通行が不便になった」⑥「歩行者・自転車の通行が、かえって危険になった」が11%であった。

